

4 第6学年 外国語科 年間指導計画例

第1学期			第2学期			第3学期		
4月	Let's Start [2] 1 いつも「たいせつ」 言葉の準備運動 2 アルファベット (p.10~13)		8月	Unit 4 [7] My Summer Vacation <夏休みの思い出> (p.44~51)		1月	Unit 7 [7] My Dream <中学校生活・将来の夢> (p.74~81)	
5月	Unit 1 [7] This is me. <自己紹介・得意なこと> (p.14~21)		9月			2月	言葉について考えよう 3 [1] ・相手の心に届くスピーチ (p.82~83)	
6月	Unit 2 [7] Welcome to Japan. <日本の行事> (p.22~29)		10月	Unit 5 [7] We live together. <動物・環境> (p.52~59)			Unit 8 [7] My Best Memory <小学校生活の思い出・行事> (p.84~91)	
7月	言葉について考えよう 1 [1] ・英語になった日本語 (p.30~31)		11月	言葉について考えよう 2 [1] ・文の組み立て (p.60~61)		3月	まとめ [3] パフォーマンスタイム (2) 世界の友達 3 You can do it! 3 (p.92~95)	
	Unit 3 [7] What time do you get up? <1日の生活・お手伝い> (p.32~39)		12月	Unit 6 [7] I want to go to Italy. <行ってみたい国や地域> (p.62~69)			英語の物語 Kurikindi (p.96~97) [1]	
	まとめ [3] パフォーマンスタイム (2) 世界の友達 1 You can do it! 1 (p.40~43)			まとめ [3] パフォーマンスタイム (2) 世界の友達 2 You can do it! 2 (p.70~73)				
第1学期計画授業時数 27 時間			第2学期計画授業時数 25 時間			第3学期計画授業時数 18 時間		
年間標準授業時数 70時間			年間計画授業時数 70 時間					

・年間3回程度 学期のまとめから2単位時間を使って「パフォーマンスタイム」を実施
・数単元で学んだことを活用して児童がALT等と一対一でやり取りをする時間を確保

- 5・6年では、年間3回程度、「まとめ」の単元で、既習事項を活用するパフォーマンスタイムを実施する。その際、児童ひとりひとりの個別の状況を見取ることができるようになる。児童が相手意識をもって「話すこと(やり取り)」・「話すこと(発表)」の言語活動に取り組むことができるようコミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確に設定し、ALTを十分に活用するなどの工夫を行うようにする。
- 簡単な語句や基本的な表現を用いての「話すこと(やり取り)」では、「その場で」質問したり、答えたりすることができるようになることを求めている。「その場で」とは、相手とのやり取りの際、それまでの学習や経験で蓄積した英語での話す力・聞く力を駆使して、自分の力で質問したり、答えたりすることができるようになることを指している。
- 「話すこと(発表)」では、「伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにすること」を意味している。そのため、GIGA 端末等で「自分のこと」や「身近で簡単な事柄」について、写真や絵を用いるなどして、自分の気持ちや考えを聞き手に分かりやすく整理して話すよう指導する。また、「話すこと(発表)」では、聞き手が「その場で」考えて質問をしたり、話し手が質問に対して「その場で」考えて答えたりする活動を取り入れることにより、「その場で」やり取りをする機会を確保することもできる。
- 令和7年度には、5・6年用パフォーマンスタイムの指導に関する事項を記載したハンドブックを配布する。教科書の各学期の「まとめ」の単元でパフォーマンスタイムを実施する際に、教科書やハンドブックにある活動から、学年の実態に合う活動を選択して指導を行うようにする。

小学校6年生1学期 話すこと [やり取り]

週末の過ごし方について伝え合おう

ALTの先生は皆さんが休日にどのような時間を過ごしているか知りたいと考えています。ALTの先生との共通点や違いを発見できるかもしれませんね。週末の過ごし方を伝え合しましょう。



【目標】ALTの先生とおたがいのことをもっと知るために、週末の過ごし方について伝え合うことができる。

□【TRY ①】自分の起きる時刻と寝る時刻を伝え合うことができる。

これまでの授業で学習した英語や知っている英語を使って伝えている。

□【TRY ②】ふだんの週末の生活について伝え合うことができる。

これまでの授業で学習した英語や知っている英語を使って伝えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	ほぼ正しい英語の順序、文表現を用いて伝えることができる	TRY①②を満たし、自分の考えや気持ちなどを伝えている	TRY①②を満たし、自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
b	英語の順序や文表現などに誤りがあるが、自分の考えや気持ちを伝えることができる	TRY①②を満たし、何とかして自分の考えや気持ちなどを伝えている	TRY①②を満たし、何とかして自分の考えや気持ちなどを伝えようとしている
c	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない	「b」を満たしていない

小学校6年生1学期 話すこと [やり取り]

週末の過ごし方について伝え合おう

【目標】ALTの先生とおたがいのことをもっと知るために、週末の過ごし方について伝え合うことができる。

実施時間	2分程度
表現	I get up / go to bed at _____ (時刻) . I always / usually / sometimes _____ .

流れ			準備物
実施前	児童	パフォーマンスタイム用ワークシートを完成させて、活動当日に持参します。	ワークシート①
	ALT	パフォーマンスタイム用ワークシートを完成させて、活動当日に持参します。	ワークシート①
	HRT・ALT	1. やり取りのモデルを見せます。 2. 既習表現以外のことばを伝えたい児童がいる場合、サポートします。	
実施中	ALT	1. ALTから先に用意したワークシートの内容を児童に見せながら紹介します。次に児童にたずねます。 2. 児童の発話に应答したり、さらに質問したりします。必要に応じてペンやメモ用紙を使ってサポートします。	ワークシート① ペン、メモ用紙
	児童	ALTの質問に対して、用意したワークシートを見せながら答えます。	ワークシート①
	児童(待機)	待機用ワークシートに記入します。	ワークシート②
	HRT	児童のパフォーマンスを評価します。	
実施後	児童	振り返りシートで自己評価し、HRTに提出します。	振り返りシート
	HRT	評価やコメントを記録し、後日、具体的な助言などを行います。	

会話例

児童はALTとあいさつを行い、席に着きます。

ALT: Hi, (児童の名前). This is my weekend (ALTが準備したワークシートを児童に見せる) I get up at 7:30. I go to bed at 11:00. How about you? What time do you get up?

児童: (児童が準備したワークシートをALTに見せる) I get up at 6:30.

ALT: 6:30. Great! You get up early. **What time do you go to bed?**

児童: I go to bed at 10:00.

ALT: You go to bed at 10:00. Nice. OK, next question. I always cook dinner on Saturday. **What do you do on Saturday or Sunday?**

児童: I sometimes play baseball.

ALT: You play baseball. Very good. I like baseball, too!

ALTはあいさつで締めくくり、会話を終了させます。

6年 _____ 組 _____ 番 名前: _____

週末の過ごし方について伝え合おう

ALTの先生は皆さんが休日にどのような時間を過ごしているか知りたいと考えています。ALTの先生との共通点や違いを発見できるかもしれませんね。週末の過ごし方を伝え合しましょう。

【目標】ALTの先生とおたがいのことをもっと知るために、週末の過ごし方について伝え合うことができる。



1. 自分の起きる時刻と寝る時刻を書きましょう。

_____ : _____



_____ : _____



2. ALTの先生と共有したい週末にすることを1つ選んで、イラストや写真を入れましょう。

(例)

always usually sometimes



3. パフォーマンスタイムの当日に持ってきて、ALTの先生と会話しましょう。